

# パブリック用手すり 軽量鉄骨下地 固定方法の特徴

どの施工方法で行うかは下地を行う施工業者様(建築側)と事前打合せが必要です。

## 軽量鉄骨下地 手すり固定方法

耐火壁  
(木下地にできない場合)

耐火壁でない場合  
(木下地)

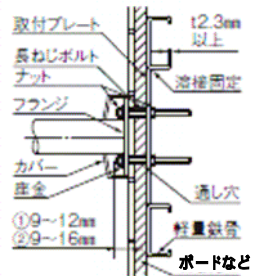
### 取付けプレート溶接固定

#### 取付けプレート溶接固定

壁仕上げ前に、手すり取付け位置が正確に決まっている場合、補強材に取付けプレートを溶接する方法です。建築図面に正確さを要します。壁仕上げ後に手すりの取付け位置を変更できません。

### 溶接セット

事前にボルトをプレートにセットし壁を仕上げます。壁仕上げ後は手すりをナットで固定します。手すりに傷を入れる心配もありません。



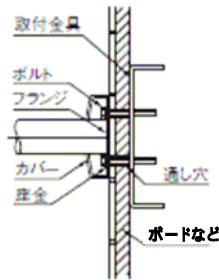
### 軽量鉄骨下地用取付け金具

#### ボルト固定・ドリルねじ固定・メカナット固定

壁仕上げ前に、大まかな手すり取付け位置を決め、壁仕上げ後に正確な取付け位置を決めたい場合の固定方法です。補強材に軽量鉄骨用取付け金具をドリルねじまたは溶接で固定します。壁仕上げ後、取付けプレートの寸法の範囲内で手すりの取付け位置が調整できます。

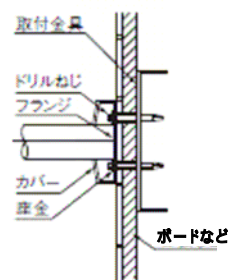
### ボルトセット

軽量鉄骨用取付け金具にタップ加工を行い、ボルトやナットで固定します。インパクトドライバーなどの工具を使用しないので、手すりに傷を入れる心配がありません。



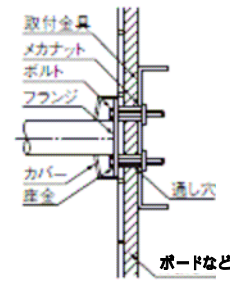
### ドリルねじセット

ドリルねじで直接、軽量鉄骨用取付け金具に手すりを取付けます。下穴用ドリルが不要ですが、施工時に手すりに傷を入れないよう注意が必要です。(下穴をあけた方が楽に施工できます。)複雑な手すりの一人作業は困難です。



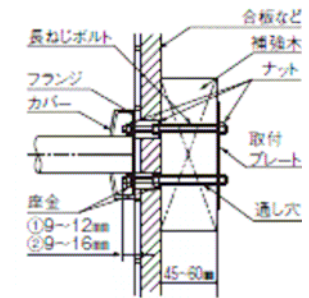
### メカナットセット

取付け金具に穴あけし、メカナットを挿入、壁裏にナットを取付けます。タップ加工ができない場合や、失敗した場合などにも対応できます。

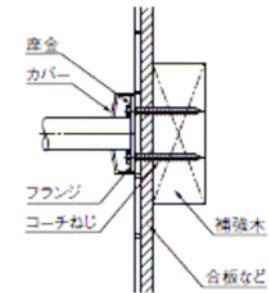


#### 挟み込み固定・コーチねじ固定 ハンガーボルト固定

< 挟み込み固定 >



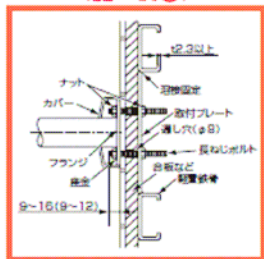
< コーチねじ固定(ハンガーボルト固定) >



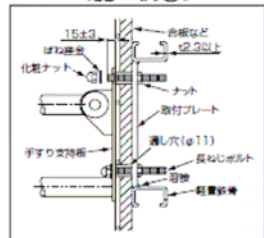
### 【3】 取付プレート溶接固定

この施工方法は壁仕上げ前に手すり取付位置を正確に決めておく必要があります。壁仕上げ後は手すりの取付位置は変更できません。壁仕上げ後、手すりの取付位置を決めたい場合は、P28～33の軽量鉄骨取付金具固定から施工方法を選定してください。

#### <施工例①>



#### <施工例②>

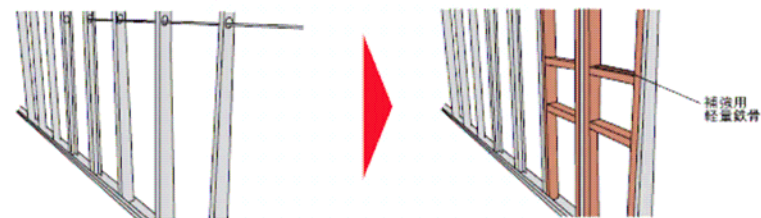


#### <必要工具類>

- 固定式手すり  
・φ8mmタイル用ドリル  
(タイル仕上げの場合)
- 可動式手すり  
・φ11mmタイル用ドリル  
(タイル仕上げの場合)

#### <施工例①の施工手順>

1) 手すりの取付位置を考慮して、補強用軽量鉄骨を取付ける。



固定金具必要個数一覧表  
パブリック用手すり  
コンビネーションタイプ(T114型) /  
背もたれ(EWC392~395、  
EWC292~295)用

品名	下地(取付方法) 軽量鉄骨下地 (取付プレート溶接固定)
多用兼用手すり型	T110038x2, T110041x2
多用兼用手すり型 (T114CL4-CR4)	T110038x3, T110041x3
多用兼用手すり型 (T114CL4-CR4)	T110038x3, T110041x3
壁掛兼用手すり型 (T114CL10)	T110038x3, T110041x3
壁掛兼用手すり型 (T114CL10)	T110038x3, T110041x3
壁掛兼用手すり型 (T114CP1-CP2)	T110038x1, T110041x2 T110039x1
壁掛兼用手すり型 (T114CP5-CP7)	T110038x1, T110041x2
丸鋼 壁掛兼用手すり	—
小径兼用手すり	T110038x2, T110041x4
壁掛兼用手すり (T114CPW)	T110038x2, T110041x4 T110039x2
壁掛兼用手すり (T114CP3)	T110038x1, T110041x2 T110039x1
カウンター洗面器用 手すり	T110038x2, T110041x2 T110039x2
背もたれ(EWC392~ 395, EWC292~295)	T110038x2, T110041x2

<パブリック用手すり(可動式)>

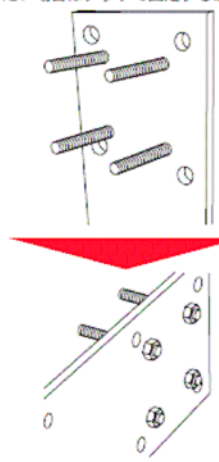
品名	下地(取付方法) 軽量鉄骨下地 (取付プレート溶接固定)
スイングタイプ	T110047x1 T110052x1
はね上げタイプ (ロック付)	T110048x1
T1140HK7-8, T1120HK7-8, T1138HK7-8	T110052x1
はね上げタイプ (T1140L7-8, T1140PL7-8, T1140PR7-8, T112H5-7-8, T112L7-8, T1138PR7-8)	T110049x1 T110052x1
はね上げタイプ (T1138H 98-99-78-99, T1138H78-99, T1138H99-99)	T110048x1 T110052x1
トリアームレスト	T110040x2, T110041x4
前方ポール手すり	T110011x3, T110041x3

※1: 床固定用の固定金具はアンカーボルト固定(コンクリート床)の場合で示しています。床が木下地の場合は床固定用のT11003R(アンカーボルト固定)をT110015(コーナバリ固定)に変更してください。なお、木下地の場合は60mm以上の補強が必要です。

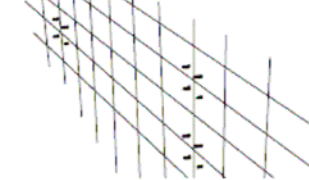
パブリック用手すり  
新設計タイプ(T112型) / スワフスタフ(T113型・T1108型) /  
背もたれ(EWC392~395, EWC292~295) /  
トリアームレスト・前方ポール手すり

品名	下地(取付方法) 軽量鉄骨下地 (取付プレート溶接固定)
多用兼用手すり型	T110011x2, T110041x2
多用兼用手すり型 (T112CL4S-CR4S)	T110011x3, T110041x3
多用兼用手すり型 (T112CL4S-CR4S)	T110011x3, T110041x3
壁掛兼用手すり型 (T112CL10)	T110011x3, T110041x3
壁掛兼用手すり型 (T112CL10)	T110011x3, T110041x3
壁掛兼用手すり型 (T112CP1-CP2)	T110012x1, T110041x2 T110039x1
壁掛兼用手すり型 (T112CP5-CP7)	T110012x1, T110041x2
壁掛兼用手すり型 (T112CPW)	T110011x1, T110041x1 T110039x1
丸鋼 壁掛兼用手すり	—
丸鋼 壁掛兼用手すり (T112CW1, T1138W1)	—
丸鋼 壁掛兼用手すり (T112CW2, T1138W2)	—
丸鋼 壁掛兼用手すり (T112CW3, T1138W3)	—
小径兼用手すり (T110012x2, T110041x4, T110039x2)	T110012x2, T110041x4
小径兼用手すり (T110014x2, T110041x4, T110039x2)	T110014x2, T110041x4
壁掛兼用手すり (T112CPW1, T1138W1)	T110012x2, T110041x4 T110039x2
壁掛兼用手すり (T112CPW1)	T110011x2, T110012x2 T110041x6
壁掛兼用手すり (T112CP3, T1138P3)	T110012x1, T110041x2 T110039x1
壁掛兼用手すり (T112CP8)	T110013x1, T110041x2 T110039x3
壁掛兼用手すり (T112CP8)	T110011x1, T110012x1 T110041x3
カウンター洗面器用 手すり型	T110011x2, T110041x2 T110039x2
浴室洗い場用 手すり型	T110011x2, T110041x2
浴室入り扉用 手すり型	—
背もたれ(EWC392~ 395, EWC292~295)	T110011x2, T110041x2
トリアームレスト	T110040x2, T110041x4
前方ポール手すり	T110011x3, T110041x3

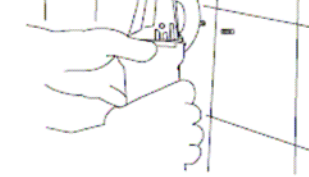
2) 壁仕上げ後のボルトの長さが十分か確認し、ボルトをセットする。壁仕上げ後、ボルトの長さをカットせず長さを調整したい場合はナットで固定する必要はありません。



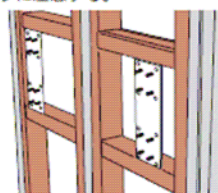
5) 壁を仕上げる。



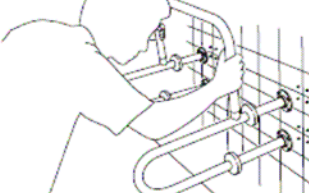
6) ボルトの出度を調整する。※注1)



3) 心出しをしなが、補強用軽量鉄骨に取付プレートを溶接する。その際仕上げ壁とすき間が出来ないように注意する。



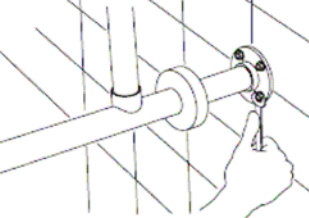
7) 手すりのフランジ取付穴にボルトを通す。



4) φ10mm程度の長ねじボルト通し穴をあけた合板などをスタットに取付ける。



8) 手すりを座金・ナットで取付ける。



※注1): 壁仕上げ面よりボルトの出度  
・手すり T112型・T113型、背もたれ EWC292型・EWC392型 (9~16mm)  
・手すり T110型・T114型、背もたれ EWC292型、EWC392型、トリアームレスト (9~12mm)  
・全ての可動式手すり 15±3mm

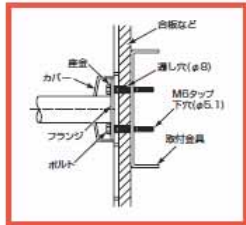


## (5) 施工手順の解説『軽量鉄骨用取付金具固定』

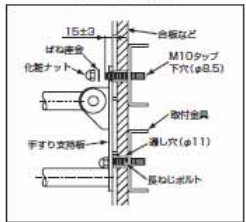
### 【1】 ボルト固定

この施工方法は手すり取付位置付近に大き目の  
軽量鉄骨用取付金具を事前に取り付けておきます。  
壁仕上げ後、取付金具の範囲内で手すりの取付  
位置が調整できます。  
現場での穴あけ、タップ加工が必要ですが、  
スパナでの締め付けが可能なため手すりに傷を  
入れる心配は少ないです。

#### <施工例①>



#### <施工例②>



#### <必要工具類>

##### 固定式手すり

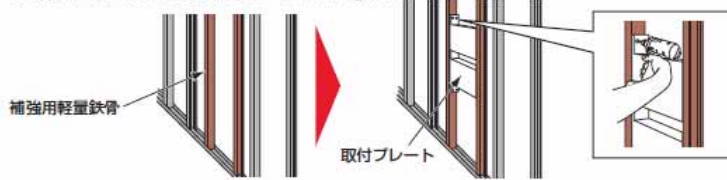
- ・φ5.1mm鋼用ドリル
- ・φ8mmタイル用ドリル  
(タイル仕上げの場合)
- ・M6タップ

##### 可動式手すり

- ・φ8.5mm鋼用ドリル
- ・φ11mmタイル用ドリル  
(タイル仕上げの場合)
- ・M10タップ

#### <施工例①の施工手順>

- 1) 取付金具を補強用軽量鉄骨にドリルねじで固定する。(溶接でも可)  
その際仕上げ壁とすき間が出来ないように注意する。



#### 固定金具必要個数一覧表

パブリック用手すり  
コンドミニアムタイプ(T114型) /  
持ちたれ(EWC382~385、  
EWC292~295)用

品名	下地(取付方法)
多用通用手すり型	T110037x2, T110044x2
多用通用手すり型 (T114CL4-CF48型)	T110037x3, T110044x3
多用通用手すり型 (T114CL4-CF4)	T110037x3, T110044x3
豪華型取付手すり型 (T114CL10)	T110037x3, T110044x3
豪華型取付手すり型 (T114CL10)	T110037x3, T110044x3
豪華型取付手すり型 (T114CP1-CF2)	T110036x1, T110044x2 T110039x1
豪華型取付手すり型 (T114CP5-CF7)	T110036x1, T110044x2
私設取付手すり	—
小取付手すり	T110036x2, T110044x4
豪華型取付手すり (T114CPW)	T110036x2, T110044x4 T110039x2
豪華型取付手すり (T114CP3)	T110036x1, T110044x2 T110039x1
カウンター取付用 手すり	T110037x2, T110044x2 T110036x2
持ちたれ(EWC382~ 385、EWC292~295)	T110037x2, T110044x2

#### <パブリック用手すり(可動式)>

品名	下地(取付方法)
スイングタイプ	軽量鉄骨下地 (ボルト固定)
はね上げタイプ (ロック付)	
T11140HK7-B, T11120HK7-B, T1138HK7-B	T110036x1 T110053x1
はね上げタイプ	
T11140FR7-B, T11140FR7-B, T11140FR7-B, T1112HFR7-B, T1112HFR7-B	T110036x1 T110053x1
はね上げタイプ	
T1138H, 88-88-78-88, T1138H-78-88, T1138H-78-88	T110037x2, T110044x2
持ちたれ(EWC382~ 385、EWC292~295)	T110037x2, T110044x2
トルームレスト	T110036x2, T110044x4
前方ボルト手すり	T110037x3, T110044x3

注1: 床面定用の固定金具はアンカーボルト固定(コンクリート床)の場合で示しています。  
床が木下地の場合は床面定用のT110039(アンカーボルト固定)をT110015  
(コーナー固定)に変更してください。なお、木下地の場合は30mm以上の幅が必要ですが。

パブリック用手すり  
パブリック用手すり  
コンドミニアムタイプ(T114型) /  
持ちたれ(EWC382~385、EWC292~295) /  
トルームレスト/前方ボルト手すり用

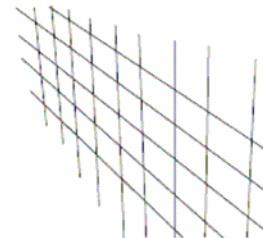
品名	下地(取付方法)
多用通用手すり型	T110037x2, T110044x2
多用通用手すり型 (T112CL45-CF48型)	T110037x3, T110044x3
多用通用手すり型 (T112CL45-CF45)	T110037x3, T110044x3
豪華型取付手すり型 (T112CL10)	T110037x3, T110044x3
豪華型取付手すり型 (T112CL10)	T110037x3, T110044x3
豪華型取付手すり型 (T112CP1-CF2)	T110036x1, T110044x2 T110039x1
豪華型取付手すり型 (T112CP5-CF7)	T110036x1, T110044x2
私設取付手すり	—
小取付手すり	T110036x2, T110044x4
豪華型取付手すり (T112CPW)	T110036x2, T110044x4 T110039x2
豪華型取付手すり (T112CP3)	T110036x1, T110044x2 T110039x1
カウンター取付用 手すり	T110037x2, T110044x2 T110036x2
持ちたれ(EWC382~ 385、EWC292~295)	T110037x2, T110044x2

品名	下地(取付方法)
多用通用手すり型	T110037x2, T110044x2
多用通用手すり型 (T112CL45-CF48型)	T110037x3, T110044x3
多用通用手すり型 (T112CL45-CF45)	T110037x3, T110044x3
豪華型取付手すり型 (T112CL10)	T110037x3, T110044x3
豪華型取付手すり型 (T112CL10)	T110037x3, T110044x3
豪華型取付手すり型 (T112CP1-CF2)	T110036x1, T110044x2 T110039x1
豪華型取付手すり型 (T112CP5-CF7)	T110036x1, T110044x2
私設取付手すり	—
小取付手すり	T110036x2, T110044x4
豪華型取付手すり (T112CPW)	T110036x2, T110044x4 T110039x2
豪華型取付手すり (T112CP3)	T110036x1, T110044x2 T110039x1
カウンター取付用 手すり	T110037x2, T110044x2 T110036x2
持ちたれ(EWC382~ 385、EWC292~295)	T110037x2, T110044x2
トルームレスト	T110036x2, T110044x4
前方ボルト手すり	T110037x3, T110044x3

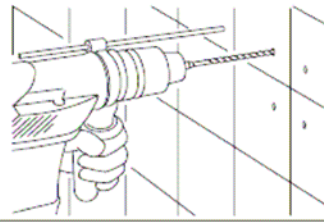
- 2) スタットに合板などを取付ける。



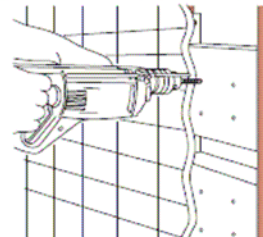
- 3) 壁を仕上げる。



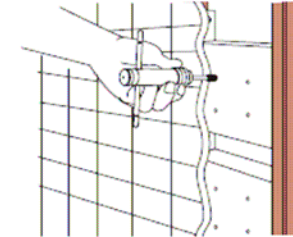
- 4) 心出し後、タイル部、合板などの通し穴を、  
φ8mmのドリルであける。



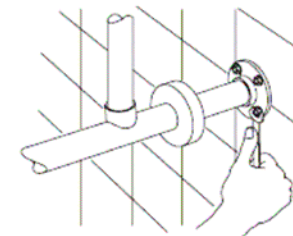
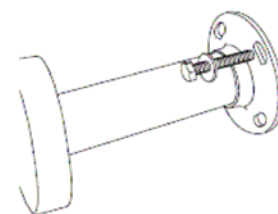
- 5) 鉄板にφ5.1mmのドリルで穴あけする。



- 6) M6のタップで鉄板にねじ加工をする。



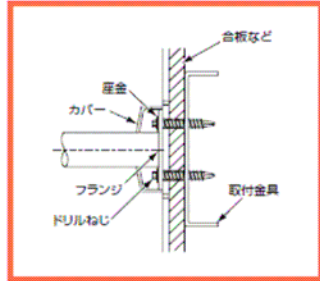
- 7) 六角ボルトに座金を通し、手すりフランジの  
取付穴より手すりを固定する。



## 【2】 ドリルねじ固定

この施工方法は手すり取付位置付近に大き目の軽量鉄骨用取付金具を事前に取り付けておきます。壁仕上げ後、取付金具の廻り内で手すりの取付位置を調整できます。ドリルねじでの施工のため、電動工具などで手すりに傷を入れない注意が必要です。

### ＜施工例①＞



### 固定金具必要個数一覧表

パブリック用手すり  
コンプレッションタイプ (T114型) /  
肘もたれ (EWC392~395、EWC292~295) 用

品名	下地(取付方法)	
	軽量鉄骨下地 (ドリルねじ固定)	下地(取付方法)
多用取付手すり型	T110037x2, T110045x2	T110037x2, T110045x2
多用取付手すり型 (T114CL4-CR4壁金)	T110037x3, T110045x2 T110044x1 E1	多用取付手すり型 (T112CL4S-CR4S壁金)
多用取付手すり型 (T114CL4-CR4)	T110037x3, T110045x3	多用取付手すり型 (T112CL4S-CR4S)
壁取付取付手すり型 (T114CL10壁金)	T110037x3, T110045x3	壁取付取付手すり型 (T112CL10壁金)
壁取付取付手すり型 (T114CL10)	T110037x3, T110045x2 T110044x1 E1	壁取付取付手すり型 (T112CL10壁金)
壁取付取付手すり型 E2 (T114CP1-CF2)	T110039x1, T110045x2 T110039x1	壁取付取付手すり型 E2 (T112CP1-CF2, T113P1-CF2)
壁取付取付手すり型 (T114CP6-CF7)	T110039x1, T110045x2	壁取付取付手すり型 (T112CP6-CF7)
和風取付手すり	—	和風取付手すり E2
小径取付手すり	T110039x2, T110045x4	小径取付手すり (T112CW1, T113BW1)
壁取付取付手すり E2 (T114CPW)	T110039x2, T110045x4 T110039x2	壁取付取付手すり (T112CW2, T113BW2)
壁取付取付手すり E2 (T114CP3)	T110039x1, T110045x2 T110039x1	壁取付取付手すり (T112CW3, T113BW3)
カウンター洗面取付 手すり E2	T110037x2, T110045x2 T110039x2	小径取付手すり (T112U1Q2, T113U1Q2)
肘もたれ (EWC392~ 395, EWC292~295)	T110037x2, T110045x2	小径取付手すり (T1110BU1R-BU2)

注1: 中間支保脚には、ボルトを使用してください。ドリルねじを使用した場合、ドライバーとカバーが干渉し、施工が困難なため、カバーを壊すおそれがあります。

注2: 床取付用の固定金具はアンカーボルト固定(コンクリート床)の場合で示しています。床が木下地の場合は床取付用のT110039R(アンカーボルト固定)をT110015(コーナーねじ固定)に変更してください。なお、木下地の場合は60mm以上の増強が必要です。

パブリック用手すり  
巻取タイプ (T112型) / スリットタイプ (T1138~T11088) /  
肘もたれ (EWC392~395, EWC292~295) /  
トイレ・ムスト・盲杖・対応手すり

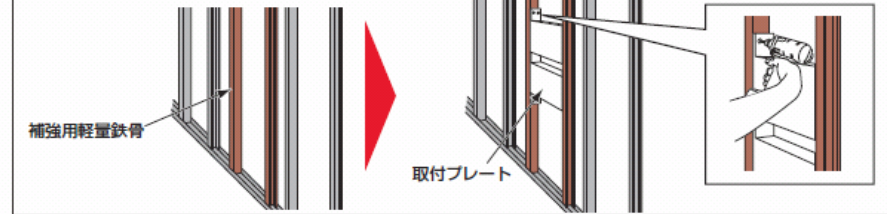
品名	下地(取付方法)	
	軽量鉄骨下地 (ドリルねじ固定)	下地(取付方法)
多用取付手すり型	T110037x2, T110045x2	T110037x2, T110045x2
多用取付手すり型 (T112CL4S-CR4S壁金)	T110037x3, T110045x2 T110044x1 E1	多用取付手すり型 (T112CL4S-CR4S)
多用取付手すり型 (T112CL4S-CR4S)	T110037x3, T110045x3	多用取付手すり型 (T112CL4S-CR4S)
壁取付取付手すり型 (T112CL10壁金)	T110037x3, T110045x3	壁取付取付手すり型 (T112CL10壁金)
壁取付取付手すり型 (T112CL10壁金)	T110037x3, T110045x2 T110044x1 E1	壁取付取付手すり型 (T112CL10壁金)
壁取付取付手すり型 E2 (T112CP1-CF2, T113P1-CF2)	T110039x1, T110045x2 T110039x1	壁取付取付手すり型 E2 (T112CP1-CF2, T113P1-CF2)
壁取付取付手すり型 (T112CP6-CF7)	T110039x1, T110045x2	壁取付取付手すり型 (T112CP6-CF7)
和風取付手すり E2	T110039x1, T110045x1 T110039x1	和風取付手すり E2
和風取付手すり (T112CW1, T113BW1)	—	和風取付手すり (T112CW1, T113BW1)
和風取付手すり (T112CW2, T113BW2)	—	和風取付手すり (T112CW2, T113BW2)
和風取付手すり (T112CW3, T113BW3)	—	和風取付手すり (T112CW3, T113BW3)
小径取付手すり (T112U1Q2, T113U1Q2)	T110039x2, T110045x4	小径取付手すり (T112U1Q2, T113U1Q2)
小径取付手すり (T1110BU1R-BU2)	T110039x2, T110045x4	小径取付手すり (T1110BU1R-BU2)
壁取付取付手すり E2 (T112CPW, T113BPW)	T110039x2, T110045x4 T110039x2	壁取付取付手すり E2 (T112CPW, T113BPW)
壁取付取付手すり E2 (T1110BL1)	T110039x2, T110045x4 T110039x2	壁取付取付手すり E2 (T1110BL1)
壁取付取付手すり (T112CPW1)	T110039x2, T110045x2 T110045x3	壁取付取付手すり (T112CPW1)
壁取付取付手すり (T112CP3, T113BP3)	T110039x1, T110045x2 T110039x1	壁取付取付手すり (T112CP3, T113BP3)
壁取付取付手すり E2 (T1110BL2)	T110039x1, T110045x2 T110039x1	壁取付取付手すり E2 (T1110BL2)
壁取付取付手すり (T112CPB)	T110039x1, T110045x1 T110045x3	壁取付取付手すり (T112CPB)
カウンター洗面取付 手すり E2	T110037x2, T110045x2 T110039x2	カウンター洗面取付 手すり E2
浴室洗い場用 手すり型	T110037x2, T110045x2	浴室洗い場用 手すり型
浴室入り用 手すり型	T110037x3, T110045x2 T110044x1 E1	浴室入り用 手すり型
肘もたれ (EWC392~ 395, EWC292~295)	T110037x2, T110045x2	肘もたれ (EWC392~ 395, EWC292~295)
トイレ・ムスト	T110039x2, T110045x4	トイレ・ムスト
前方ボード付手すり	T110037x3, T110045x3	前方ボード付手すり

### ＜必要工具類＞

固定式手すり  
・φ3~3.5mm鋼用ドリル  
・φ8mmタイル用ドリル  
(タイル仕上げの場合)

### ＜施工例①の施工手順＞

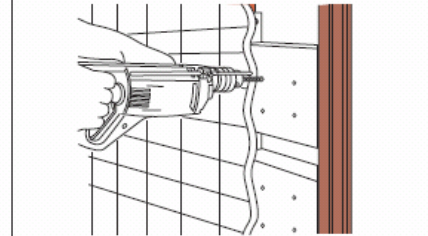
1) 取付金具を補強用軽量鉄骨にドリルねじで固定する。(溶接でも可)  
その際仕上げ壁とすき間が出来ないように注意する。



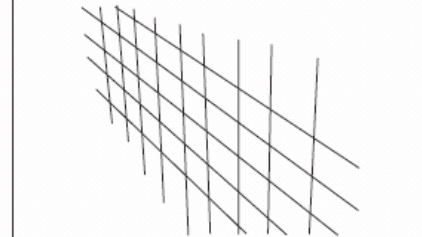
2) スタットに合板などを取付ける。



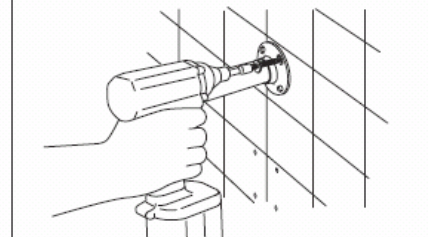
5) 鉄板にφ3~3.5mmのドリルで穴あけする。



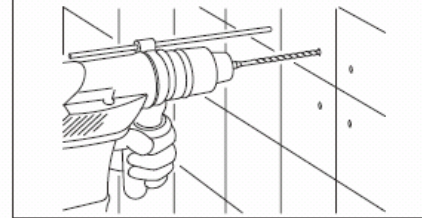
3) 壁を仕上げる。



6) ドリルねじで固定する。



4) 心出し後、タイル部、合板などの通し穴を、  
φ8mmのドリルであける。

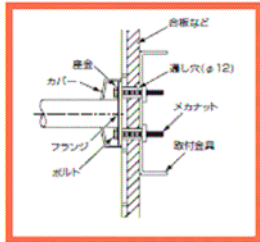




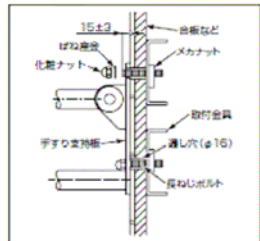
### 【3】メカナット固定

この施工方法は手すり取付位置付近に大き目の軽量鉄骨用取付金具を事前に取り付けておきます。壁仕上げ後、取付金具の範囲内で手すりの取付位置が調整できます。タップ加工は必要ありませんが大き目の穴あけが必要で、タップ加工に失敗した場合などの対応が可能です。

#### ＜施工例①＞



#### ＜施工例②＞

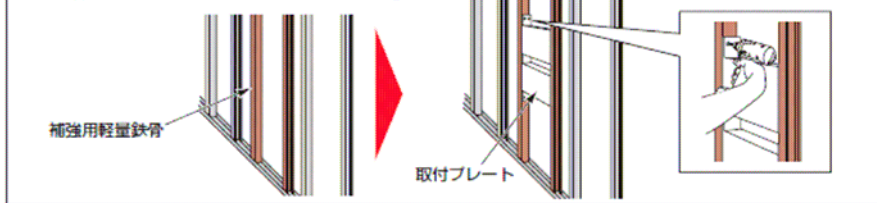


#### ＜必要工具類＞

- | 固定式手すり   | 可動式手すり   |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>φ12mm鋼用ドリル</li> <li>φ12mmタイル用ドリル (タイル仕上げの場合)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>φ16mm鋼用ドリル</li> <li>φ16mmタイル用ドリル (タイル仕上げの場合)</li> </ul> |

#### ＜施工例①の施工手順＞

- 取付金具を補強用軽量鉄骨にドリルねじで固定する。(溶接でも可) その際仕上げ壁とすき間が出来ないように注意する。



#### 固定金具必要個数一覧表

パブリック用手すり  
コンプレックス用タイプ(T114型) /  
群もたれ(EWC392~395、  
EWC292~295)用

品名	下地(取付方法) 軽量鉄骨下地 (メカナット固定)
多用型手すり用	T110037x2, T110049x2
多用型手すり用 (T1142L4-CR4)	T110037x3, T110049x3
多用型手すり用 (T1142L4-CR4)	T110037x3, T110049x3
壁掛型手すり用 (T1142L10)	T110037x3, T110049x3
壁掛型手すり用 (T1142L10)	T110037x3, T110049x3
壁掛型手すり用 (T1142CP1-CPE)	T110036x1, T110049x2 T110039x1
壁掛型手すり用 (T1142CP5-CPE)	T110036x1, T110049x2 T110039x1
小突型手すり	T110036x2, T110049x4
壁掛型手すり (T1142CPW)	T110036x2, T110049x4 T110039x2
壁掛型手すり (T1142CP)	T110036x1, T110049x2 T110039x1
カウンター設置用 ますり	T110037x2, T110049x2 T110039x2
群もたれ(EWC392~ 395, EWC292~295)	T110037x2, T110049x2

#### ＜パブリック用手すり(可動式)＞

品名	下地(取付方法) 軽量鉄骨下地 (メカナット固定)
スイングタイプ	T110036x1 T110054x1
はね上げタイプ (ロック付)	
T11140HK7-S	
T11120HK7-S	
T11150HK7-S	
はね上げタイプ	
T11140H7-7-S	
T11140HL7-7-S	
T11140P7-7-S	
T1112H6-7-S	
T1112P7-7-S	
はね上げタイプ	
T11139	
SS-SS-7S-SS	
T11139-PL7S-SS	
T11139-PR7S-SS	

注1：床固定用の固定金具はアンカーボルト固定(コンクリート床)の場合を示しています。床が木下地の場合は床固定用のT11003R(アンカーボルト固定)をT110015(コーナージュ固定)に変更してください。なお、木下地の場合は60mm以上の補強が必要です。

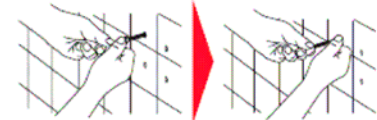
パブリック用手すり  
群もたれ(T1128型)・スイングタイプ(T1132型・T1105型) /  
群もたれ(EWC392~395, EWC292~295) /  
トイレ・ムスト(廊下・階段手すり)

品名	下地(取付方法) 軽量鉄骨下地 (メカナット固定)
多用型手すり用	T110037x2, T110049x2
多用型手すり用 (T1120L4S-CR4S)	T110037x3, T110049x3
多用型手すり用 (T1120L4S-CR4S)	T110037x3, T110049x3
壁掛型手すり用 (T1120L10)	T110037x3, T110049x3
壁掛型手すり用 (T1120L10)	T110037x3, T110049x3
壁掛型手すり用 (T1120P5-CPE)	T110036x1, T110049x2 T110039x1
壁掛型手すり用 (T1120P5-CPE)	T110036x1, T110049x2 T110039x1
小突型手すり	T110036x2, T110049x4
壁掛型手すり (T1120M2, T1139M2)	T110036x2, T110049x4 T110039x2
壁掛型手すり (T1120M3, T1139M3)	T110036x2, T110049x4 T110039x2
小突型手すり (T1120U1, T1139U1)	T110036x2, T110049x4 T110039x2
多用型手すり (T1106U1R-BU2)	T110036x2, T110049x4 T110039x2
壁掛型手すり (T1120PW, T1139PW)	T110036x2, T110049x4 T110039x2
壁掛型手すり (T1106L1)	T110036x2, T110049x4 T110039x2
壁掛型手すり (T1120P1)	T110036x2, T110049x2 T110039x1
壁掛型手すり (T1120P3, T1139P3)	T110036x1, T110049x2 T110039x1
壁掛型手すり (T1106L2)	T110036x1, T110049x2 T110039x1
壁掛型手すり (T1120CP)	T110036x1, T110037x1 T110049x3
カウンター設置用 ますり	T110037x2, T110049x2 T110039x2
浴室用・通 手すり用	T110037x2, T110049x2
浴室入り用 ますり用	T110037x3, T110049x3
群もたれ(EWC392~ 395, EWC292~295)	T110037x2, T110049x2
トイレ・ムスト	T110036x2, T110049x4
前方ボート手すり	T110037x3, T110049x3

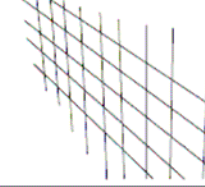
- 2) スタットに合板などを取付ける。



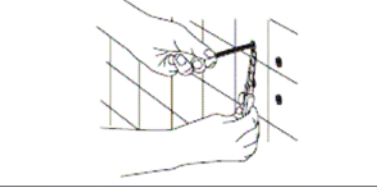
- 6) プッシャーを指で押し込み、ガイドを引き上げる。



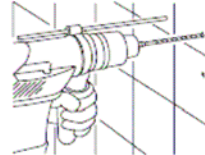
- 3) 壁を仕上げる。



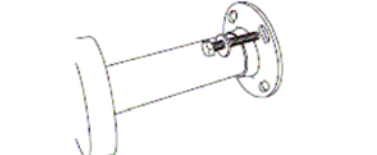
- 7) ガイド部を切断する。



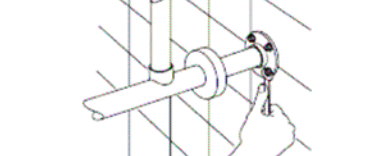
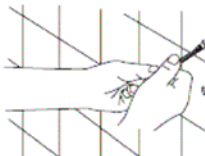
- 4) 心出し後、タイル部、合板などの通し穴を、φ12mmのドリルであける。



- 8) 六角ボルトに座金を通し、手すりフランジの取付穴より手すりを固定する。



- 5) メカナットを挿入する。



#### メカナットの施工手順

<b>1</b>	<b>2</b>	<b>3</b>	<b>4</b>	<b>5</b>
ドリルで適応する下穴をあけます。(M6は12mm, M10は16mmのドリル径を使用してください。)	ナット部を折りたんで下穴に挿入します。	プッシャーを指で押し込み、ガイドを引き上げます。(プッシャーを部材に押し付けたままガイドを引っ張ると楽に作業できます。)	カッター、またはニッパーなどで不要なガイド部を切ります。(手では引きちぎれません。)	指定サイズのボルトを使って締めてください。